

建築家 入江正之 先生
第二十二回 村野藤吾賞 受賞 札幌講演会

早稲田大学教授の入江正之先生が、建築設計分野で「村野藤吾賞」を受賞され、去る5月15日に授賞式が行われました。先生は1987年からの約7年半に亘り室蘭工業大学に赴任され、1990年には『アントニオ・ガウディに関する一連の研究』で「日本建築学会賞（論文賞）」を受賞されており、名実共にガウディ研究の世界的権威であります。

また、先生は当時より一貫して建築家活動を継続され、建築雑誌等にも多数作品が紹介されていることは周知のことと存じます。それと同時に、工大の設計教育では早稲田流の情熱的な設計教育で北海道に新風を吹き込み、道内の大学における建築設計教育のレベルアップにも貢献されました。2005年には「日本建築学会作品選奨」も受賞され、ますます建築家としてご活躍されているところです。

このたび、入江正之先生を北海道・札幌にお招きし、受賞関連する一連の研究活動・建築家活動として講演を頂くこととなりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

記

開催日時：2009年10月3日（土）15:30～17:00

実施場所：札幌市立大学サテライトキャンパス（室蘭工業大学サテライト同階）

札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル 5階

講師：早稲田大学 教授 入江正之 先生

講演内容：「実験装置/Masia（スペインカタロニアの民家）2008」と近作について

司会進行：羽深 久夫 氏（札幌市立大学 教授）

コメンター：室蘭工業大学 OB を予定

以上

主催：村野藤吾賞受賞記念 札幌講演会実行委員会

後援（予定）：室蘭工業大学創の会、早稲田大学稲門建築会、日本建築学会北海道支部、日本建築家協会、インテリアプランナー協会、北の民家の会、札幌市立大学、北海道職業能力開発大学校、北海道工業大学

※ 講演会事務局/北海道職能大 中渡（建築19期） 0134-62-3553/090-7511-6983